

健康に過ごすため

病気の予防・早期発見を!

市は、各種予防接種や健康診査(健診)を無料でを行っています。健診を受けて、健康な体づくりをしましょう。

健康推進課(子ども・子宮頸がん・風しんの予防接種は☎504-2882、元気じゃ健診は☎504-2290。いずれも☎504-2258)か、各保健センター地域支えあい課(☎、☎は下記)



子どもの予防接種



健康推進課
池田達哉技師

予防接種を受けることにより、感染症を予防したり、かかったときに重症化しにくくしたりすることができます。子どもの健康のため、接種期間などを確認して忘れずに予防接種を受けましょう

無料

生後2カ月から

- 対象年齢、
- 接種回数、
- 接種間隔は、法律などで決まっています

ワクチン	予防できる病気	病気の特徴	ワクチン	予防できる病気	病気の特徴
B型肝炎	肝炎、肝硬変、肝がんなど	肝炎は、肝硬変を経て肝がんへと進行する恐れがあります	BCG	結核	今でも全国で1年に約1万5000人の患者が新たに発生しています。小児が感染すると、結核性髄膜炎など重篤な症状になる恐れがあります
ヒブ	化膿性髄膜炎、敗血症、肺炎など	乳幼児期に多く感染し、重篤な疾患を引き起こすことがあります	麻しん・風しん	麻しん(はしか)、風しん	麻しんは感染力が強く、重症化など、命に関わる恐れがあります。風しんは、妊娠中にかかると赤ちゃんの聴力や視力などに障害が起こる可能性があります
小児用肺炎球菌			水痘	水痘(水ぼうそう)	感染力が強い発疹性の病気です。けいれんや肺炎、気管支炎を引き起こし重症化する恐れがあります
ロタウイルス	ロタウイルス感染症	乳幼児期にかかりやすく、脱水症状がひどくなると入院治療が必要になることもあります	日本脳炎	日本脳炎	蚊を媒介して感染し、重篤な脳炎を起こすことがあります
四種混合	ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ	いずれも重篤で死に至る恐れのある感染症です			



母子健康手帳の接種歴を確認し、まだ受けていない予防接種がある場合は、かかりつけの医療機関(小児科など)と相談しながら、計画的に接種してください。接種期間など、詳しくは

市HP ページ番号
2952

個各保健センター地域支えあい課

区	電話	ファクス	区	電話	ファクス
中	504-2528	504-2175	安佐南	831-4942	870-2255
東	568-7729	568-7790	安佐北	819-0586	819-0602
南	250-4108	254-4030	安芸	821-2809	821-2832
西	294-6235	294-6113	佐伯	943-9731	923-1611

元気じゃ健診



健康推進課
前川優希保健師

「元気じゃ健診」は、市が実施する健康診査の愛称です。健診は、生活習慣病の早期発見に役立ちます。年に1回、受診して、生活習慣病を予防しましょう

■対象

40歳以上の市国民健康保険加入者、県後期高齢者医療被保険者、40歳以上の医療保険未加入者
※医療機関に通院中の人も対象
※上記以外でも、加入している健康保険で健康診査を実施している場合があります。詳しくは、勤務先や加入している健康保険にお問い合わせください

■健診内容

身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査 など

集団健診は、
日曜日・夜間
も実施しています!

元気じゃ健診の受診券



封筒



国民健康保険被保険者
医療保険未加入者



後期高齢者医療被保険者

子宮頸がん予防ワクチン



安芸区地域支えあい課
田中希美保健師

ワクチンの効果とリスクを理解した上で、受けましょう。接種を積極的に勧めることについては、平成25年から控えてきましたが、昨年度から再開しました。いずれも厚生労働省の通知に基づいています

市HP ページ番号
2951



■対象

次の①②のうち、接種が完了していない人
①平成19(2007)年4月2日～平成24(2012)年4月1日に生まれた(小学校6年生～高校1年生相当年齢)の女性
②平成9(1997)年4月2日～平成19(2007)年4月1日に生まれた女性

■接種回数・間隔

原則同じワクチンで2回か3回。接種回数・間隔はワクチンの種類や接種開始年齢で異なります

■注意事項

接種年齢や間隔を守れなかった場合は定期接種の対象とならず、費用は自己負担となります。この場合、健康被害が生じても予防接種法に基づく救済が受けられません

9価ワクチンを接種できます

子宮頸がんの原因の多くはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染です。HPVにはいくつかの種類(型)があり、そのうち9種類のHPVの感染を防ぐのが9価ワクチンです。子宮頸がんの原因の80~90%を予防することができます。

無料 ※

※左記対象②の人は、令和7(2025)年3月末まで

■受診の流れ

- 1 母子健康手帳などを
持って、医療機関へ
- 2 ワクチン接種を受ける

接種券や
予診票は
実施医療機関に
あります

■受診の流れ

- 1 受診券が届く
- 2 受診場所を選ぶ
- 3 健診を受診する

無料

4月に受診券が届きます。必ず開封し、内容を確認してください

医療機関、集団健診、市健康づくりセンターの中から選んで受診することができます

所要時間は約1時間、自己負担金は0円です。個人で受けると約9,600円かかる検査を、無料で受診できます



安心して受診を

健診実施機関では感染症対策を徹底しています。会場の混み合いが気になる人は、例年、受診者数が少なく、インフルエンザなども流行していない8~9月の受診がおすすめです。元気じゃ健診について、詳しくは

市HP ページ番号
212894



風しん抗体検査・予防接種

これまで定期接種の機会がなく、風しんの抗体保有率が低い世代の男性は、抗体検査と予防接種*を受けられます
※十分な抗体がない人のみ



健康推進課
井関純平主査

無料

令和7(2025)年
3月末まで

■対象

昭和37(1962)年4月2日～昭和54(1979)年4月1日に生まれた男性

■受診場所

医療機関。抗体検査は健康診断の機会と一緒に受けることができます

■抗体検査・予防接種を受けるには

専用のクーポン券が必要です。対象者のうち、抗体検査・予防接種を受けていない人に、6月中旬に送付する予定です。※勤務先の健康診断の機会に併せて受けるなど、早めにクーポン券が必要な人は、市ホームページから申請してください

■抗体検査・予防接種を受けるまでの流れ

- 1 クーポン券が届く
- 2 抗体検査を受ける
- 3 予防接種を受ける

抗体なし

抗体あり

市HP ページ番号
2993



「風しん」ってどんな病気?

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力が非常に強く、主にせきやくしゃみなどで感染します。

症状は、感染しても症状が出ない状態から、重篤な合併症の併発まで幅広く、成人では重症化して入院が必要になることもあります。

また、妊娠初期の妊婦が感染すると、赤ちゃんの聴力や視力、心臓に障害が起こる「先天性風しん症候群」を発症する可能性があります。

風しんは予防接種で防ぐことができる感染症です。自身の感染を防ぐため、そして生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るため、抗体検査と予防接種を受けましょう。